岩盤ボーリング柱状図

調査名	一級河川　太田川水系　青ケ迫川　通常砂防事業に伴う測量設計業務委託
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	砂防　砂防

ボーリング名	Bor.No.2	調査位置	広島県山県郡安芸太田町田吹			北緯	34° 33’ 05.8857″
発注機関	広島県西部建設事務所安芸太田支所			調査期間	令和3年 5月 7日～ 令和3年 5月13日	東経	132° 12’ 27.5133″
調査業者名	株式会社　荒谷建設コンサルタント 電　話　082-292-5482	主任技師	岸本 剛 地質調査技士 登録番号：第27030号	現場代理人	有田 直矢 地質調査技士 登録番号：	コア鑑定者	有田 直矢 地質調査技士 登録番号：
ボーリング責任者	松長 毅 地質調査技士 登録番号：第21078号						

孔口標高	TP 530.06m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 90° 西 東 180° 南	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦DO-D
総削孔長	13.00m								エンジン：ヤンマー TF-90M　ポンプ：東邦製BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名（模様）	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 (%) / 最大コア長 cm / RQD [%]	記事	孔内水位／測定月日
1–6	524.06	6.00		人工材料	暗灰							(100) (100) (100) (100) (100) (100)	既設堰堤。硬質な粗石とコンクリートの混合材料(粗石コンクリート)からなる。 粗石は3～30cm程度の物を含む。 コンクリートは粗骨材を含み，セメント部は全体的に軟化し，一部粘土化している箇所も見られる。 GL-0.7mから逸水。 GL-5.55～5.65m間は空隙が見られる。	5/8 無し 5/10 4.70 5/11 5.40
6–11.25	518.81	11.25		玉石混り砂礫	褐灰							(100) (100) (100) (100) (100) (100) (100) 0[0](100)	最大径20cm程度の玉石を含む砂礫層。 砂は中～粗砂主体。 φ1～5cm程度の亜角礫を含む。 少量の細粒分を含む。	
11.25–13.00	517.06	13.00		風化花崗岩	淡褐灰	w4	h3	D	V	d	D	0[0](100) 0[0](100)	中～粗粒花崗岩。 コア芯部まで風化しているが，岩組織は明瞭。 DH級相当で，指圧で崩れる。	

標準貫入試験 深度－N値図

N値	深度	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
13	6.65–6.95	13/300		
40	7.15–7.45	40/300		
35	8.15–8.45	35/300		
50以上	9.00	貫入不能		
27	10.15–10.45	27/300		
50以上	11.15–11.29	50/140	140	
50以上	12.15–12.27	50/120	120	
50以上	13.15–13.26	50/110	110	

原位置試験	室内試験	削孔日	削孔速度 (cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削孔水・送水量 (L/min)	排水量 (L/min)
		5/7	25	66／ケーシング	W／D	300	300	0	W2/3	0
		5/8	38							
		5/10	25							
		5/11	13							
		5/12	38			200	300			
		5/13	25	66	W／D	200	150			
						400	150			